



あさひ

学校だより12月号
令和2年 11月 30日
横浜市立旭小学校

昭和34年4月18日制定

<旭小学校ホームページ> 随時更新しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/index.cfm/1.html>



体験活動の大切さ ～校外学習より～

学校長 高桑 透

朝晩の冷え込みが日に日に厳しくなり、いよいよ年の瀬、12月になりました。後期からは5、6年生による委員会活動が始まりました。朝は校内放送のさわやかな音楽で一日がスタートします。給食室、図書室、飼育小屋などでも、高学年が生き生きと学校のために活動している姿を多く見ることができます。高学年が全校をリードするという本来の姿が戻りつつあり、とてもうれしく感じました。感染症については、先が見えない状況が続いていますが、できることから、一つずつ工夫して取り組んでいきます。

先月、1、2年、そして5年生の校外学習に引率しました。

1、2年生は2学年合同でズーラシアに行きました。1、2年合同グループを作ることにより、2年生に上級生としての意識をもたせることができました。事前学習でグループ別に見たい動物を話し合う場面や、当日のグループ行動で2年生が活躍していました。1年生にやさしく声をかけたり、時間を気にしながら、地図を広げて考えながら見学したり、素敵な姿がたくさんありました。また1年生も、2年生を頼りにしながら班長さんの言うことをよく聞き活動しました。校外学習でのグループ活動のルールを2年生と一緒に行動することで理解することができました。

5年生は、厚木にある県立総合防災センターに行きました。地震や津波、台風などの自然災害から、自分たちの身を守るために必要なことについて、映像、展示物、体験を通して学ぶことができました。特に震度7の揺れと、風速30メートルの強風を体験したことで、改めて自然災害の恐ろしさについて身をもって学ぶことができました。見学のマナーも良く、どの子も真剣に見学している姿が印象的でした。服部牧場では、えさやり体験をしました。動物たちの世話のほんの一部の体験をしたのですが、広大な牧場の広さやたくさんの動物たちを目の当たりにして、酪農の大変さにも気づくことができたと思います。この学びを社会科や総合の学習につなげていき、まとめます。

2つの校外学習を通して、やはり学校内だけではできない体験をすることが、子どもたちの学びを深くすることができるのだと改めて思いました。校外学習の事前指導から事後のまとめまでを通して、しっかりと目標を決めてみんなで取組、達成する経験こそ、学校教育の醍醐味であると強く感じました。これから校外学習を控えている学年も、きっと素敵な学びにしてくれると思います。



生活目標

ものを大切にしよう

保健目標

体をきたえよう

清掃目標

すみずみをきれいにしよう

給食目標

環境を整えてなごやかに会食をしよう